

令和元年 11 月臨時会 提案説明要旨

(はじめに)

関西広域連合議会令和元年 11 月臨時会の開会にあたり、議員の皆様にご挨拶を申し上げますとともに、引き続きご指導、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

はじめに、さる 10 月 12 日から 13 日にかけて東日本を縦断した台風第 19 号では、中部、関東甲信越、東北に記録的な大雨をもたらし、一時は 13 都県に大雨特別警報が発表され、極めて広範囲で土砂災害や河川氾濫などの甚大な被害が発生しました。犠牲となられた方々のご冥福をお祈りし、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りします。

広域連合では、特に被害の大きい福島県、栃木県、長野県に対して、カウンターパート方式により、家屋被害認定調査業務や災害廃棄物関係業務等の支援を行っています。

今後とも引き続き、被災地の状況を踏まえ、関西広域連合が一丸となって、被災地に寄り添った支援を行ってまいります。

それでは、提案理由の説明に先立ち、8 月定例会以降の主な取組についてご報告します。

(広域防災の取組み)

第 1 は、広域防災の取組です。

「関西防災・減災プラン」の「地震・津波災害対策編」及び「風水害対策編」の改訂について、大阪府北部地震や平成 30 年 7 月豪雨等の災害対応の検証結果や、現行プラン策定後の法律や防災基本計画等の改正、広域連合の広域防災に関する取組の成果等を踏まえ、中間案を作成しました。10 月 19 日の防災医療常任委員会での意見やパブリックコメントの意見等を踏まえながら、今年度末を目途に改訂できるよう準備を進めてまいります。

(広域計画の策定)

第 2 は、第 4 期広域計画の策定です。

10 月 5 日の総務常任委員会でお示しした第 4 期広域計画案については、10 月 7 日に開催した広域計画等推進委員会を経て、現在、パブリックコメントを実施しています。

今後、市長会、町村会をはじめ幅広く意見を伺いながら、来年 3 月の定例会で審議いただく予定です。

地方版総合戦略である第 2 期関西創生戦略についても、関西圏域の地方創生

を図る観点から、広域計画と一体的に策定作業を進めてまいります。

(広域観光・文化の推進)

第3は、広域観光・文化の推進です。

10月13日から20日にかけて、広域観光担当の西脇委員を団長とする訪問団を結成し、フランス、イギリスでのトッププロモーションを実施し、パリ市を含む広域レジオンであるイル・ド・フランス州と観光分野における協力活動発展のための覚書を締結しました。今後、観光面での相互協力や、フランス、イギリスで構築したネットワークを活用し、関西観光本部が中心となって欧州において更なる関西の認知度向上と誘客促進を図ります。

また、百舌鳥・古市（もず・ふるいち）古墳群が世界文化遺産に登録されたことを記念して、文化庁地域文化創生本部や歴史街道推進協議会と連携し、「文化財の保存と活用」、「文化資源と地域づくりとの関わり」について考える「歴史文化遺産フォーラム」を9月28日に堺市で開催しました。

(広域環境保全の取組)

第4は広域環境保全への取組です。

広域連合では、「関西プラスチックごみゼロ宣言」を行い、プラスチックごみ削減に向け様々な取組を実施しています。10月1日から11月30日にかけては、プラスチックごみ削減の取組の一環として、「マイボトルdeエコキャンペーン」を実施しています。今後とも、ラジオやインターネット等を活用した広報活動と合わせて、プラスチックをはじめ、ゴミを出さないライフスタイルへの転換を促進してまいります。

また、温室効果ガス削減に向け、電気自動車や燃料電池自動車の魅力や知識を啓発するため、10月1日から12月10日までエコカー検定を実施しています。

(「ワールドマスタースゲームズ2021関西」の開催支援等)

第5は、「ワールドマスタースゲームズ2021関西」の開催支援等です。

いよいよ、来年2月1日から、参加者のエントリーの受付が始まります。

11月19日には各開催府県市、スポーツ団体、協賛企業の参加のもと決起大会を開催し、大会エントリーに関する重要事項を発表するとともに、出席者の皆様からの競技への出場表明など、大会の更なる魅力発信と機運醸成を図りました。

既に、大会参加規約や大会の楽しみ方、競技要項など、エントリーに必要な情報や、ボランティアの募集案内をホームページにおいて公表していますが、今後も引き続き、一人でも多くの方に参加いただけるよう、様々な機会を活用しPRに努めてまいります。

(2025年大阪・関西万博について)

第6は、2025年大阪・関西万博です。

2025年大阪・関西万博は、国内外の人々に関西の魅力を発信する絶好の機会であり、観光客の増大や地域経済の活性化など、関西圏域の元気づくりに大きく寄与するものです。万博の成功とその効果の関西全体への波及を実現するため、広域連合としても積極的に取り組む必要があることから、令和元年10月1日付けで、大阪府知事を万博担当委員に、大阪市長及び京都府知事を万博副担当委員としました。

新たな組織体制のもと、2025年大阪・関西万博の開催を契機とした関西地域の活性化に向けた取組について検討・調整を進めてまいります。

(広域インフラの整備促進)

第7は、広域インフラの整備促進です。

北陸新幹線の大阪までの1日も早い開業を目指し、11月14日に北陸新幹線建設促進同盟会等とともに、与党及び関係省庁に対して要請活動を行いました。

11月26日には、京都府、大阪府、関西経済連合会とともに、東京において、敦賀・大阪間の整備促進に向けた建設促進大会を開催します。

リニア中央新幹線の大阪までの早期開業を始めとする高速鉄道の整備促進、高速道路網のミッシングリンクの解消、空港・港湾の機能強化等についても、引き続き、国に対する要望活動等を展開してまいります。

(関西健康・医療創生会議について)

第8は、関西健康・医療創生会議です。

文部科学省の支援を受け、関西11大学と関西健康・医療創生会議が連携して取り組む「関西広域医療データ人材教育拠点形成事業」のキックオフとして、10月11日に「関西におけるアカデミア連携による新たな医療人材の育成」をテーマとするシンポジウムを開催しました。

この事業により、産業界や自治体職員の受入れなど、アカデミアと連携したデータサイエンス人材の育成を支援してまいります。

(資格試験の実施)

第9は資格試験の実施です。

今年度から広域連合で新たに実施する登録販売者試験を8月25日に実施し、10月4日に合格発表を行いました。受験者数は9,713名で、合格率は58.8%でした。

同じく今年度から実施する毒物劇物取扱者試験を12月1日に8会場で予定しており、現在、円滑な実施に向け準備を進めています。

(提出議案の説明)

これより、提出した議案について説明します。

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律により、令和2年4月1日から会計年度任用職員制度が創設されることに伴い、関西広域連合において制度導入に伴い必要となる「関西広域連合会計年度任用職員の給与及び費用弁償等に関する条例」他2件の条例を制定するものです。

(おわりに)

以上で提出議案の説明といたします。また、令和元年8月定例会提出の第3号議案「平成30年度関西広域連合一般会計歳入歳出決算認定の件」もあわせてご審議いただきます。議員の皆様におかれましては、よろしくご審議をいただきますようお願いいたします。